

# 事務事業評価シート(25年度実施事務事業)

総合計画の施策名	商業の活性化	担当部署名	市民生活部地域活性化課	担当課長名	東 勇輔
事務事業名 (※) 第1期実施計画の事業名	中心市街地活性化対策事業	(※) 第1期実施計画の 分類番号/事業番号/枝番号	1071	1	
財務会計上の事業名	中心市街地活性化推進事業	財務会計上の短縮番号	4405		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

## 1 事務事業の概要

事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的的事业
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計    (    ) <input type="checkbox"/> 企業会計    (    )
事業の対象 【誰(何)を】	いけだサンシー株式会社、商業の活性化に関わる者、学生
事業の手段 【どうする(させる)ことで】	旧中心市街地活性化法に基づき作成された基本計画、TMO構想等の中で中心市街地活性化に寄与する事業を推進するために、本まちづくり会社である「いけだサンシー株式会社」等を支援する。また、平成21年度より石橋・池田両地区の学生による商店街空き店舗活用事業を補助する。
事業の目的 【どのような結果を得るか】	地域経済及び社会の発展に重要となる中心市街地及び商店街の活性化を支援することで、都市機能の増進及び経済活力の向上を一体的に推進し、生活の向上及び経済の発展を図る。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続    (平成12年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 時 限    (平成    年度~平成    年度)
事業内容の見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 実施    (直近) 平成21年度 <input type="checkbox"/> 未 実施
※見直し内容を記入	平成21年度より石橋・池田両地区の学生による商店街空き店舗活用事業補助を開始
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠となる法令の条項 までを記入	池田市中心市街地推進事業補助金交付要綱

## 2 事業コスト・指標値の推移

区 分	23 年度 (決算)		24 年度 (決算)		25 年度 (決算)		26 年度 (予算)		H25/H24	
事業費(千円)	8,426		5,426		5,226		7,726		96.3%	
人件費(人・千円)	0.30	2,400	0.30	2,340	0.31	2,418	0.31	2,418	103.3%	
事業 内 訳	正職員	0.30	2,400	0.30	2,340	0.31	2,418	0.31	2,418	103.3%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
支出合計 A	10,826		7,766		7,644		10,144		98.4%	
財 源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源	10,826		7,766		7,644		10,144		98.4%
受益者負担率 B÷A									-	

指標値	区 分	内 容	単 位	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	目標値 (H26)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
(1)	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	事業支援	回	5	3	3	4	4
(2)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(3)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(4)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							

## 3 成果の達成状況等

成果の達成状況	<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない
26年度の取組方針	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止
選択の理由	池田ブランド構築事業の中心となる参加店が増加し、イベントへの参加者数も持続している。学生の空き店舗活用事業も順調にすすめられている

(参考)今後のアウトソーシング 導入の可否	<input type="checkbox"/> 1 導入済 <input type="checkbox"/> 2 事業の全てが可能 <input type="checkbox"/> 3 事業の一部が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 4 不可能
選択の理由	中心市街地活性化に寄与する事業を行うものに対して、池田市から補助を行う事業であり、アウトソーシングになじまない。

## 4 担当部長が考える今後の方向性・見通し

評価を踏まえた課題と対策	(参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」
新たな試みとして、落語パルを実施し、各個店への収益にもつながったようであるが、実施にあたっての反省点などを踏まえ、恒常的な収益と回遊性を検討し実施していく必要がある。学生の空き店舗活用事業については、それぞれの地域においての一定の成果と知名度もあり、イベントなども地域と密着した活動を行っているが、学生の独自性を生かした活動に期待し継続していく。	池田ブランド構築事業については、猪-1グランプリやセミナー形式のイベントなど、積極展開中。会員間の参加意欲向上や、収益源の確保等が課題である。学生の空き店舗活用事業については、地域をまきこんだ積極的な活動により活性化の一助となっており、今後も事業を継続していく。

# 事務事業評価シート(25年度実施事務事業)

総合計画の施策名	商業の活性化	担当部署名	市民生活部地域活性課	担当課長名	東 勇輔
事務事業名 (※) 第1期実施計画の事業名	商工業団体補助事業	(※) 第1期実施計画の分類番号/事業番号/枝番号	1072	1	1
財務会計上の事業名	商工業団体補助事業	財務会計上の短縮番号	4340		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

## 1 事務事業の概要

事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的的事业
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )
事業の対象【誰(何)を】	池田商工会議所(商工会議所法に基づく公益法人)、池田市商店会連合会・池田市市場会連合会・池田市工業振興会
事業の手段【どうする(させる)ことで】	商工会議所を補助し、各連合会及び振興会を助成する
事業の目的【どのような結果を得るか】	市内商工業者の経営の合理化・近代化を促進し、商工業の振興と活性化を図る
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続    昭和27年度～(商工会議所) <input type="checkbox"/> 時限 (平成 年度～平成 年度) 昭和34年度～(その他)
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施
※見直し内容を記入	
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠となる法令の条項までを記入	池田市商工業団体補助金交付要綱

## 2 事業コスト・指標値の推移

区分	23年度 (決算)		24年度 (決算)		25年度 (決算)		26年度 (予算)		H25/H24	
	事業費(千円)	2,000		2,000		1,800		1,800		90.0%
人件費(人・千円)	0.10	800	0.13	1,014	0.11	858	0.11	858	84.6%	
事業コスト等	内 正職員	0.10	800	0.13	1,014	0.11	858	0.11	858	84.6%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
支出合計 A	2,800		3,014		2,658		2,658		88.2%	
財源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源	2,800		3,014		2,658		2,658		88.2%
受益者負担率 B÷A									-	

指標値	区分	内 容	単位	23年度	24年度	25年度	26年度	目標値 (H26)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
(1)	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	商工会議所会員数	件	1,298	1,270	1332	1350	1380
(2)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(3)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(4)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							

## 3 成果の達成状況等

成果の達成状況	<input type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input checked="" type="checkbox"/> C 判断できない
26年度の取組方針	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止
選択の理由	補助金の効果を定量的な数値として把握するのは困難であるが、市内商工業の振興に活用されている。

(参考) 今後のアウトソーシング導入の可否	<input type="checkbox"/> 1 導入済 <input type="checkbox"/> 2 事業の全てが可能 <input type="checkbox"/> 3 事業の一部が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 4 不可能
選択の理由	商工業団体が主体となって経営の合理化・近代化を図るための補助金であり、アウトソーシングになじまない。

## 4 担当部長が考える今後の方向性・見通し

評価を踏まえた課題と対策	(参考) 昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」
池田商工会議所をはじめ、各種団体へ補助することにより、各種団体に参加する商工業者の協力や意欲の向上につながっていると考えられる。各種団体への補助は継続し、池田商工会議所への補助については、精査を行い減額をおこなった。今後も商工業者の経営安定化、活性化への寄与などを踏まえ、事業を継続していく。	商工業の発展と経営の安定化、並びに市の活性化を図るためには事業の継続は必要であると認識。補助金額については、引き続き精査を継続していく。

事務事業評価シート(25年度実施事務事業)

総合計画の施策名	商業の活性化	担当部署名	市民生活部地域活性課	担当課長名	東 勇輔
事務事業名 (※) 第1期実施計画の事業名	商工業関係者表彰事業	(※) 第1期実施計画の 分類番号/事業番号/枝番号	1071	1	2
財務会計上の事業名	商工業関係者表彰事業	財務会計上の短縮番号	4345		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

1 事務事業の概要

事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的的事业
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 (                    ) <input type="checkbox"/> 企業会計 (                    )
事業の対象 【誰(何)を】	市内に所在する中小企業者及びその事業所に勤務する従業員
事業の手段 【どうする(させる)ことで】	池田商工会議所と共催で対象者を審査し、市内の優良商工業者及び従業員を表彰する。
事業の目的 【どのような結果を得るか】	商工業者及び従業員の勤務意欲や資質の向上、能率の増進を図り、商工業の発展と地域産業の振興を推進する。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 (平成2年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 時限 (平成  年度~平成  年度)
事業内容の見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成22年度 <input type="checkbox"/> 未実施
※見直し内容を記入	表彰者数の見直し
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠となる法令の条項 までを記入	池田市長および池田商工会議所会頭連盟による商工業関係者表彰実施要領 池田市商工業関係者表彰審査会規則

2 事業コスト・指標値の推移

区 分		23 年度 (決算)		24 年度 (決算)		25 年度 (決算)		26 年度 (予算)		H25/H24	
事業 コスト 等	事業費(千円)	147		146		124		150		84.9%	
	人件費(人・千円)	0.14	880	0.19	1,238	0.20	1,316	0.20	1,316	105.3%	
	内 訳	正職員	0.10	800	0.15	1,170	0.16	1,248	0.16	1,248	106.7%
		再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
		任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	-
		非常勤職員		0		0		0		0	-
		アルバイト	0.04	80	0.04	68	0.04	68	0.04	68	100.0%
	支出合計 A		1,027		1,384		1,440		1,466		104.0%
	財 源	国・府支出金									-
		受益者負担 B									-
その他財源										-	
一般財源		1,027		1,384		1,440		1,466		104.0%	
受益者負担率 B÷A										-	

区 分	内 容	単 位	23 年度 (実績)	24 年度 (実績)	25 年度 (実績)	26 年度 (予定)	目標値 (H26)
(1) <input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	商工業関係者の顕彰	名	37	41	37	35	30
(2) <input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(3) <input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(4) <input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							

3 成果の達成状況等

成果の達成状況	<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない
26年度の取組方針	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止
選択の理由	毎年行われている表彰式であったが、平成22年度に表彰者数の見直しを行ったことにより表彰の価値が上がった。

(参考) 今後のアウトソーシング 導入の可否	<input type="checkbox"/> 1 導入済 <input type="checkbox"/> 2 事業の全てが可能 <input type="checkbox"/> 3 事業の一部が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 4 不可能
選択の理由	池田市から各商工業者に対する表彰のため、アウトソーシングになじまないと考える。

4 担当部長が考える今後の方向性・見通し

評価を踏まえた課題と対策	(参考) 昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」
池田市と商工会議所での共催で実施している表彰は、池田市のみで、被表彰者(対象者)も減少の傾向であり、受賞者枠の見直しも行ったところである。共催実施として受賞者の審査については、相互の表彰に相応しい方を審査会で慎重に行い、表彰していく必要がある。なお、審査員の構成についても、今後見直す必要がある。	実際に表彰を受けた方に関しても、この表彰の受賞は、市内商工業者のモチベーションを上げる重要なファクターとなっている。平成22年度に受賞者の見直しを行ったことにより、受賞者の数より高次元での質を追究した表彰制度となっていると認識。今後も、受賞者の推薦及び審査については、より厳格に行うことで商工業発展の裾野を広げることにもつながると考えており、現在の事業内容の継続が必要と史料。

# 事務事業評価シート(25年度実施事務事業)

総合計画の施策名		商業の活性化	担当部署名	市民生活部地域活性化課	担当課長名	東 勇輔
事務事業名	(※) 第1期実施計画の事業名	商工業経営者等育成事業	(※) 第1期実施計画の分類番号/事業番号/枝番号	1072	1	3
	財務会計上の事業名	商工業経営者等育成事業	財務会計上の短縮番号	4395		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

## 1 事務事業の概要

事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的的事业			
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計             (     ) <input type="checkbox"/> 企業会計             (     )			
事業の対象【誰(何)を】	市内に所在する中小企業者及びその従業員、または創業希望者等			
事業の手段【どうする(させる)ことで】	ビジネスセミナー及び創業支援セミナー等の開催、企業育成室の入居者審査会を行う。			
事業の目的【どのような結果を得るか】	社会情勢に対応できる経営体質の強化や将来展望を見据えた対象者に有用なセミナーを開催し、経営者等の育成を促進する。また、池田市企業育成室の入居者を審査し、市内で発展を望める入居者を選定する。			
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 (平成2年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 時 限 (平成 年度~平成 年度)			
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未 実施			
※見直し内容を記入				
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度			
※根拠となる法令の条項までを記入				

## 2 事業コスト・指標値の推移

区 分	23年度(決算)		24年度(決算)		25年度(決算)		26年度(予算)		H25/H24	
事業費(千円)	13		14		17		52		121.4%	
人件費(人・千円)	0.10	800	0.10	780	0.09	702	0.09	702	90.0%	
事業内訳	正職員	0.10	800	0.10	780	0.09	702	0.09	702	90.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
支出合計 A	813		794		719		754		90.6%	
財源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源	813		794		719		754		90.6%
受益者負担率 B÷A									-	

指標値	区 分	内 容	単位	23年度	24年度	25年度	26年度	目標値(H26)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
(1)	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	知的財産相談	人	1	1	-	-	-
(2)	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	企業育成室入居者審査会実施回数	回	2	2	2	-	-
(3)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(4)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							

## 3 成果の達成状況等

成果の達成状況	<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない	
26年度の取組方針	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止	
選択の理由	知的財産の相談や企業育成室入居に係る審査を行うことは、中小企業等、市内産業の振興に資するため、有効な事業と考える。	

(参考) 今後のアウトソーシング導入の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 1 導入済 <input type="checkbox"/> 2 事業の全てが可能 <input type="checkbox"/> 3 事業の一部が可能 <input type="checkbox"/> 4 不可能	
選択の理由	知的財産相談については、弁理士に業務依頼済。企業育成室入居者審査会の審査員に対する報酬については、アウトソーシングになじまない。	

## 4 担当部長が考える今後の方向性・見通し

評価を踏まえた課題と対策	(参考) 昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」
<p>創業者の支援として弁理士による知的財産相談を行うとともに、創業者の入居審査と入居者の支援を行うなかで、市内での新たな事業展開への展望などそれぞれの立場から審査を行う。</p>	<p>平成24年度については、右記と同様。知的財産相談については、平成25年度以降については、内諾済の弁理士との最終調整がつけば、平成25年度から知的財産の無償化開始予定。企業育成室の入居審査については、今後も専門家の目線から厳正な審査を依頼していく。</p>

## 事務事業評価シート(25年度実施事務事業)

<b>総合計画の施策名</b>	商業の活性化	<b>担当部署名</b>	市民生活部地域活性課	<b>担当課長名</b>	東 勇輔
<b>事務事業名</b>	(※) 第1期実施計画の事業名	商業活動活性化事業(商業祭)	(※) 第1期実施計画の 分類番号/事業番号/枝番号	1073	1
	財務会計上の事業名	商業活動活性化事業	財務会計上の短縮番号	4400	

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

### 1 事務事業の概要

<b>事業区分</b>	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的事業
<b>会計区分(会計名を記入)</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 (    ) <input type="checkbox"/> 企業会計 (    )
<b>事業の対象【誰(何)を】</b>	市内商業団体
<b>事業の手段【どうする(させる)ことで】</b>	対象となる市内商業団体の実施するイベント事業「商業祭」に対する補助を行う。
<b>事業の目的【どのような結果を得るか】</b>	市内商業の活性化と地域振興を図る。
<b>実施期間</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 (平成12年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 時限 (平成  年度~平成  年度)
<b>事業内容の見直し</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成25年度 <input type="checkbox"/> 未実施
<b>※見直し内容を記入</b>	補助金額の見直し:平成20年 1,800千円 平成21年 1,500千円 平成22年~24年 1,400千円 平成25年1,200千円 平成26年 1,200千円
<b>実施根拠</b>	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
<b>※根拠となる法令の条項までを記入</b>	池田市商業活動活性化事業補助金交付要領

### 2 事業コスト・指標値の推移

区分	23年度 (決算)		24年度 (決算)		25年度 (決算)		26年度 (予算)		H25/H24	
	<b>事業費(千円)</b>	1,400		1,400		1,200		1,200		85.7%
<b>人件費(人・千円)</b>	0.10	800	0.20	1,560	0.24	1,872	0.24	1,872	120.0%	
<b>事業内訳</b>	正職員	0.10	800	0.20	1,560	0.24	1,872	0.24	1,872	120.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
<b>支出合計 A</b>	2,200		2,960		3,072		3,072		103.8%	
<b>財源</b>	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
一般財源	2,200		2,960		3,072		3,072		103.8%	
<b>受益者負担率 B÷A</b>									-	

指標値	区分	内 容	単位	23年度	24年度	25年度	26年度	目標値 (H26)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
(1)	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	売上高等	千円	3,173	2,809	2,284	3,000	3,200
(2)	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	出店数	店	25	33	43	45	47
(3)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(4)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							

### 3 成果の達成状況等

<b>成果の達成状況</b>	<input type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input checked="" type="checkbox"/> C 判断できない
<b>26年度の取組方針</b>	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止
<b>選択の理由</b>	市民に認知されており、広く商業者をPRしている商業祭の実施及び、商業振興及び地域活性化に資する団体への補助による効果は大きい。
<b>(参考)今後のアウトソーシング導入の可否</b>	<input type="checkbox"/> 1 導入済 <input type="checkbox"/> 2 事業の全てが可能 <input type="checkbox"/> 3 事業の一部が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 4 不可能
<b>選択の理由</b>	商業祭や、商業振興及び地域活性化に資する団体に対して補助を行う事業であり、アウトソーシングになじまない。

### 4 担当部長が考える今後の方向性・見通し

評価を踏まえた課題と対策	(参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」
商業祭実行委員会において検討されており、例年、池田地域で実施していたが、昨年は石橋地域に変更し、賑わいの創出に寄与。内容を精査したうえで減額措置を取ったが、今後の事業展開についても注視していく必要がある。	市内商業の活性化に資する意味では、大変有意義な事業であるが、内容については精査が必要と考える。事業内容を充分精査し、内容によっては補助金の削減も視野にいれながら、事業の継続を図る。

### 事務事業評価シート(25年度実施事務事業)

総合計画の施策名	商業の活性化	担当部署名	市民生活部地域活性化課	担当課長名	東 勇輔
事務事業名 (※)第1期実施計画の事業名	商業活性化イベント事業	(※)第1期実施計画の分類番号/事業番号/枝番号	1073	1	2
財務会計上の事業名	商業活性化イベント事業	財務会計上の短縮番号	4425		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

#### 1 事務事業の概要

事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的事業
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )
事業の対象【誰(何)を】	市内商業団体等
事業の手段【どうする(させる)ことで】	市内商業団体等が商業の活性化を目的としたイベントや魅力ある商店街づくりを目的に行う調査研究活動、また、空き店舗及び空地等を活用する事業に対して経費の一部を助成する。
事業の目的【どのような結果を得るか】	地域の魅力創造・向上及び地域商業の活性化を図る。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 (平成12年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 時限 (平成 年度~平成 年度)
事業内容の見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近)平成25年度 <input type="checkbox"/> 未実施
※見直し内容を記入	補助金額:平成24年度まで 150千円(1団体につき150,000円×1団体) 平成25年度200千円 平成26年度850千円
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠となる法令の条項までを記入	池田市商業活性化イベント事業補助金交付要綱

#### 2 事業コスト・指標値の推移

区分	23年度(決算)		24年度(決算)		25年度(決算)		26年度(予算)		H25/H24	
事業費(千円)	150		150		200		850		133.3%	
人件費(人・千円)	0.09	720	0.15	1,170	0.21	1,638	0.21	1,638	140.0%	
事業内訳	正職員	0.09	720	0.15	1,170	0.21	1,638	0.21	1,638	140.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
支出合計 A	870		1,320		1,838		2,488		139.2%	
財源	国・府支出金								-	
	受益者負担 B								-	
	その他財源								-	
	一般財源	870	1,320			1,838	2,488		139.2%	
受益者負担率 B÷A									-	

区分	内容	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(予定)	目標値(H26)
(1) <input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	事業実施団体数	団体	1	1	2	2	2
(2) <input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(3) <input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(4) <input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							

#### 3 成果の達成状況等

成果の達成状況	<input type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input checked="" type="checkbox"/> C 判断できない
26年度の取組方針	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止
選択の理由	他のイベントと同時開催及び連携する事により、効果的に運営されている。
(参考)今後のアウトソーシング導入の可否	<input type="checkbox"/> 1 導入済 <input type="checkbox"/> 2 事業の全てが可能 <input type="checkbox"/> 3 事業の一部が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 4 不可能
選択の理由	商業活性化イベントに対する市からの補助事業のため、アウトソーシングになじまない。

#### 4 担当部長が考える今後の方向性・見通し

評価を踏まえた課題と対策	(参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」
石橋地域を中心に実施している地域に密着したイベントであり、落語のまち池田のPRに寄与。地域住民と連携した恒例事業となっている。今後も工夫を凝らした集客イベントとしての継続が必要と考える。	地域に密着し、恒例となったイベント補助であり、落語など市の施策にも連動している。減額も含めた検討・調整を行っているが、24年度については例年通りの決算額となった。今後も予算額を含めた精査を行った上、事業の継続が必要と考える。

# 事務事業評価シート(25年度実施事務事業)

総合計画の施策名	商業の活性化	担当部署名	市民生活部地域活性課	担当課長名	東 勇輔
事務事業名 ※ 第1期実施計画の事業名	まちづくり活性化支援事業	※ 第1期実施計画の分類番号/事業番号/枝番号	1073	1	3
財務会計上の事業名	まちづくり活性化支援事業	財務会計上の短縮番号	4438		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

## 1 事務事業の概要

事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的的事业				
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 (    ) <input type="checkbox"/> 企業会計 (    )				
事業の対象【誰(何)を】	市内商業団体等				
事業の手段【どうする(させる)ことで】	まちづくり推進事業の補助				
事業の目的【どのような結果を得るか】	新たなまちづくりの展開及び市民主導型のまちづくり推進事業を促進し、本市商工業と地域の活性化を図る。				
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 (平成12年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 時 限 (平成    年度~平成    年度)				
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成    年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未 実施				
※見直し内容を記入					
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度				
※根拠となる法令の条項までを記入	池田市まちづくり・活性化推進事業補助金交付要綱				

## 2 事業コスト・指標値の推移

区 分		23 年度 (決算)		24 年度 (決算)		25 年度 (決算)		26 年度 (予算)		H25/H24	
事業 コスト 等	事業費(千円)	0		0		0		100		-	
	人件費(人・千円)	0.00	0	0.00	0	0.05	390	0.05	390	-	
	内 訳	正職員	0		0		0.05		0.05		390
		再任用短時間勤務職員	0		0		0		0		0
		任期付短時間勤務職員	0		0		0		0		0
		非常勤職員	0		0		0		0		0
アルバイ	0		0		0		0		0		
支出合計 A		0		0		390		490		-	
財 源	国・府支出金									-	
	受益者負担 B									-	
	その他財源									-	
一般財源		0		0		390		490		-	
受益者負担率 B÷A										-	

指標値	区 分	内 容	単 位	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	目標値 (H26)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
(1)	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	委託及び補助事業実施団体	団体数	0	0	0	1	1
(2)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(3)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(4)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							

## 3 成果の達成状況等

成果の達成状況	<input type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input checked="" type="checkbox"/> C 判断できない				
26年度の取組方針	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止				
選択の理由	対象者には有効な制度である。新たなまちづくりにより事業が展開される場合に必要となる。				
(参考)今後のアウトソーシング導入の可否	<input type="checkbox"/> 1 導入済 <input type="checkbox"/> 2 事業の全てが可能 <input type="checkbox"/> 3 事業の一部が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 4 不可能				
選択の理由	池田市から対象者に対して補助を行う事業であり、アウトソーシングになじまない。				

## 4 担当部長が考える今後の方向性・見通し

評価を踏まえた課題と対策	(参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」
本市の新たな取組みによるまちづくりと、地域の活性化のため、本制度は今後も継続していく必要はあるが、市民が主導となり、新たなまちづくりの展開や活動を精査して、本市の商工業と地域の活性化に資することを目的とした団体に支援を行う。	本市の新たな取組みによるまちづくりと、地域の活性化のため、本制度は今後も継続していく必要はあるが、予算額については、さらに精査の上、再検討が必要と考える。

事務事業評価シート(25年度実施事務事業)

総合計画の施策名	商業の活性化	担当部署名	市民生活部地域活性化課	担当課長名	東 勇輔
事務事業名 ※第1期実施計画の事業名	本町通等活性化事業資金融資事業	※第1期実施計画の分類番号/事業番号/枝番号	1073	1	4
財務会計上の事業名	本町通等活性化事業資金融資事業	財務会計上の短縮番号	4443		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

1 事務事業の概要

事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的的事业
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )
事業の対象【誰(何)を】	指定地域に新規出店する事業者
事業の手段【どうする(させる)ことで】	対象者に対して新規出店に必要な事業資金の融資を斡旋する。
事業の目的【どのような結果を得るか】	融資斡旋により新規出店を支援し、促進させるとともに地域の発展と振興を推進し、まちの活性化に寄与する。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 (平成18年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 時 限 (平成 年度~平成 年度)
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未 実施
※見直し内容を記入	
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠となる法令の条項までを記入	池田市本町通等活性化事業資金貸付規則

2 事業コスト・指標値の推移

区 分	23 年度 (決算)		24 年度 (決算)		25 年度 (決算)		26 年度 (予算)		H25/H24		
	事業費(千円)	0		0		0		240		-	
人件費(人・千円)	0.10	800	0.03	234	0.06	468	0.06	468	200.0%		
事業コスト等	内 訳	正職員	0.10	800	0.03	234	0.06	468	0.06	468	200.0%
		再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
		任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	-
		非常勤職員		0		0		0		0	-
		アルバイト		0		0		0		0	-
支出合計 A		800	234	468		708	200.0%				
財 源	国・府支出金								-		
	受益者負担 B								-		
	その他財源								-		
	一般財源	800	234	468		708	200.0%				
受益者負担率 B÷A								-			

指標値	区 分	内 容	単位	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	目標値 (H26)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
(1)	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	融資貸付件数	件	0	0	0	1	1
(2)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(3)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(4)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							

3 成果の達成状況等

成果の達成状況	<input type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input checked="" type="checkbox"/> C 判断できない
26年度の取組方針	<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止
選択の理由	貸付限度額が3,000万円と高額であり、指定地域に新規出店する事業者にとって有効な支援策であるといえる。

(参考)今後のアウトソーシング導入の可否	<input type="checkbox"/> 1 導入済 <input type="checkbox"/> 2 事業の全てが可能 <input type="checkbox"/> 3 事業の一部が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 4 不可能
選択の理由	池田市と金融機関との間の損失補償契約に基づく融資制度のため、アウトソーシングになじまない。

4 担当部長が考える今後の方向性・見通し

評価を踏まえた課題と対策	(参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」
損失補償の抱えるリスクと、他の融資制度のメリットとのバランスを踏まえ、制度自体の改正・改廃についても先を見越した議論をするべき段階に来ていると認識しているが、現在の貸付償還状況を鑑み、検討をしていく必要がある。	損失補償の抱えるリスクと、他の融資制度のメリットとのバランスを踏まえ、制度自体の改正・改廃についても先を見越した議論をするべき段階に来ていると認識。